

平成18年度事務事業評価表

担当	教育委員会	生涯学習課	内線等	3405
----	-------	-------	-----	------

事業コード		事務事業名	公民館講座開設事業		
根拠法令等	生涯学習推進計画		A 法令	B 条例	C 規則
			D その他	E なし	

総合計画での位置付け

基本目標

施策名

豊かな心と創造性を育むまちづくり	生涯学習
------------------	------

事務事業の内容

対象(受益者)	学ぼうとする市民に
手 段	公民館における講座等を開設することによって
想定する成果	誰でも、いつでも、どこでも、何でも学習できる環境整備を図る

事業の概要

項 目	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度計画
入門講座	11講座 184人	11講座 176人	11講座 275人参加予定
定 員	220人	220人	275人
講座開設委託料	559千円	268千円	360千円

成果指標

成果指標名	一講座あたりの平均参加者数	参加率
成果指標の説明	参加者 / 講座数	参加者 / 定員 × 100

事業の進捗状況 (一般会計)

(千円)

		平成17年度決算	平成18年度決算	平成19年度予算
成果指標	計画			20.0人
	実績	16.7人	16.0人	
成果指標	計画			100.0%
	実績	83.6%	80.0%	
事業費	事業費	559	268	360
	人件費	2,413	2,335	2,367
	(人数)	0.3	0.3	0.3
	合計	2,972	2,603	2,727
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	2,972	2,603	2,727

事務事業内容の評価

項目	課内評価		部長評価		評価の説明（問題点）
	18評価	15評価	18評価	15評価	
達成度	1	2	1	2	この2年間ほど各公民館ともに参加者数が減っている。流行を敏感に察知し、若者も惹きつける講座にしたい。
経済効率性	2	2	2	2	事業費の軽減を図り、効率性は高まったと思う。
事務効率性	1	2	1	2	担当職員と公民館職員との連携が十分ではないので改善していきたい。
必要性	3	3	2	3	地区コミュニティの中心として公民館の果たす役割はたいへん重要である。
小計	7	9	6	9	
施策への貢献度	2	-	2	-	生涯学習によるまちづくりは、地区公民館の果たす役割が大きい。
合計	9	9	8	9	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	B	B	公民館がコミュニティの中心になるためには、もっと若者や親子を対象にした講座を企画する必要がある。公民館だよりやチラシ等PRにさらに力を入れたい。
------	---	---	---	---	--

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

これまでに実施した改善点

改善等事項	経費の縮減額
居住地以外の公民館の講座にも参加できるようにし、「健康問題」や「陶芸」など多くの人が関心を持っているものを講座のテーマにした。	

今後改善すべき点

公民館だけではなく地域の小中学校、児童館などと連携した講座・イベントを企画し、生涯学習によるまちづくりを推進したい。
--

平成20年度予算に反映する項目

--

今後の方向性

拡大、充実 ・ 見直し、縮小 ・ 現状維持 ・ 検討中

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

平成18年度事務事業評価表

担当	教育委員会	生涯学習課	内線等	3405
----	-------	-------	-----	------

事業コード		事務事業名	生涯学習情報提供事業		
根拠法令等	生涯学習推進計画		A 法令	B 条例	C 規則
			D その他	E なし	

総合計画での位置付け

基本目標	施策名
豊かな心と創造性を育むまちづくり	生涯学習

事務事業の内容

対象（受益者）	学ぼうとする市民に
手段	生涯学習等の情報を提供することによって
想定する成果	誰でも、いつでも、どこでも、何でも学習できる環境整備を図る

事業の概要

項目	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度計画
しおさい発行回数	年3回（全世帯配布）	年3回（全世帯配布）	廃刊
マイフレンド発行部数	年2回（800部×2）	年2回（250部×2）	年2回（600部×3）
団体サークル紹介誌	年1回（800部）	年1回（800部）	年1回（800部）

成果指標

成果指標名	しおさい発行部数	マイフレンド及び団体サークル紹介誌発行部数
成果指標の説明	27,000部×3回	マイフレンド年2回+団体サークル紹介誌

事業の進捗状況

（ 一般会計 ）

（千円）

		平成17年度決算	平成18年度決算	平成19年度予算	
成果指標	計画				
	実績	81,000部	81,000部		
成果指標	計画			2,600部	
	実績	2,400部	1,300部		
事業費	事業費	386	373	印刷製本費等を一般管理事務に計上したので 予算はない。	
	人件費	2,413	2,335		2,367
	(人数)	0.3	0.3		0.3
	合計	2,799	2,708		2,367
財源内訳	国				
	県				
	市債				
	その他				
	一般財源	2,799	2,708	2,367	

事務事業内容の評価

項目	課内評価		部長評価		評価の説明（問題点）
	18評価	15評価	18評価	15評価	
達成度	1	1	1	1	情報誌「しおさい」は市内のほぼ全世帯に配布され、「団体サークル紹介誌」も毎回好評である。
経済効率性	2	2	2	2	業者間の競争で印刷単価は下降している。
事務効率性	1	2	1	2	近隣市町の情報収集に手間取ることがある。
必要性	2	3	2	3	生涯学習情報発信の有効な手段だが、紙ベース資料の存続はケースバイケースで考えていく必要がある。
小計	6	8	6	8	
施策への貢献度	3	-	3	-	生涯学習によるまちづくりは、生涯学習情報の充実が不可欠である。
合計	9	8	9	8	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	A	A	B	A	インターネットの普及にもかかわらず、生涯学習課の企画する講座は高齢者の参加が多いので、情報誌の提供は大切である。インターネットで取得できる情報も充実させながらやっていく必要がある。
------	---	---	---	---	--

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

これまでに実施した改善点

改善等事項	経費の縮減額
平成19年度から生涯学習情報誌「しおさい」は廃刊した。	328,162円

今後改善すべき点

世界のIT環境は「ユビキタス社会」に向かっているが、紙ベースの情報がすぐなくなることはないと思う。行政が携帯電話、パソコン、カーナビ等を使わない人たちにも情報提供する義務はまだあるはずである。「何か新しい手段」を講じるべき時期に来ているが、なかなか妙案が浮かばない。

平成20年度予算に反映する項目

--

今後の方向性

拡大、充実 ・ 見直し、縮小 ・ 現状維持 ・ 検討中

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

平成18年度事務事業評価表

担当	教育委員会	生涯学習課	内線等	3405
----	-------	-------	-----	------

事業コード		事務事業名	俊成の里短歌大会開催事業		
根拠法令等			A 法令	B 条例	C 規則
			D その他	E なし	

総合計画での位置付け

基本目標

施策名

豊かな心と創造性を育むまちづくり	文化
------------------	----

事務事業の内容

対象（受益者）	蒲郡市民及び短歌を愛好する皆さんに対して
手 段	藤原俊成を顕彰する短歌大会を実施することにより
想定する成果	短歌を媒体とした蒲郡市の文化向上と全国への文化発信を図る

事業の概要

項 目	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度計画
応募作品数	696件	589件	700件
市外応募数	645件	535件	620件
大会参加者数	310人	256人	350人

成果指標

成果指標名	市外応募率	参加者増減率
成果指標の説明	市外応募数 / 応募作品数 × 100	現年度参加者数 / 前年度参加者 × 100

事業の進捗状況（ 一般会計 ）

（千円）

		平成17年度決算	平成18年度決算	平成19年度予算
成果指標	計画			
	実績	92.7%	90.8%	88.6%
成果指標	計画			
	実績	50.7%	82.6%	136.7%
事業費	事業費	700	550	530
	人件費	2,413	3,892	3,945
	(人数)	0.3	0.5	0.5
	合計	3,113	4,442	4,475
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	3,113	4,442	4,475

事務事業内容の評価

項目	課内評価		部長評価		評価の説明(問題点)
	18評価	15評価	18評価	15評価	
達成度	2	2	2	2	市外からの投稿者が多いので市外、県外への文化発信度は高いが、市内の投稿にも力を入れたい。
経済効率性	2	1	2	1	予算に見合った成果をあげていると思う。
事務効率性	1	1	1	1	市文化協会短歌部門のお手伝いはあるが、募集準備、募集期間等が長いので事務の効率は良いとは言えない。
必要性	1	2	1	2	すでに定着・確立した事業なので市文化協会短歌部門に任せても良い時期にきていると思う。
小計	6	6	6	6	
施策への貢献度	2	-	2	-	「俊成の里」蒲郡としては、短歌創作文化を発信することにより特色ある文化を創る良いシステムだと思う。
合計	8	6	8	6	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	B	B	蒲郡市民の投稿をさらに促し、短歌創作の文化を全国発信していきたい。
------	---	---	---	---	-----------------------------------

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

これまでに実施した改善点

改善等事項	経費の縮減額
平成16年度から日本歌人クラブと共催し、投稿料をとるようにした。	

今後改善すべき点

すでに21回を超える安定した事業なので、蒲郡市文化協会に委託することを考えていきたい。

平成20年度予算に反映する項目

--

今後の方向性

拡大、充実 ・ 見直し、縮小 ・ 現状維持 ・ 検討中

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

平成18年度事務事業評価表

担当	教育委員会	生涯学習課	内線等	3405
----	-------	-------	-----	------

事業コード		事務事業名	子ども会育成事業				
根拠法令等	生涯学習推進計画		A 法令	B 条例	C 規則	D その他	E なし

総合計画での位置付け

基本目標

施策名

豊かな心と創造性を育むまちづくり	生涯学習
------------------	------

事務事業の内容

対象（受益者）	蒲郡市子ども会連絡協議会と各地域の子ども会に対して
手 段	活動補助金の交付及び事務的支援をすることにより
想定する成果	子ども会に関わる青少年の健全育成を図る

事業の概要

項 目	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度計画
スポーツ大会	416人	390人	390人
青空まつり	800人	800人	800人
補助金額	1,710千円	1,700千円	1,200千円

成果指標

成果指標名	各行事の平均参加人数	補助率
成果指標の説明	参加者 / 行事数	補助金額 / 全体の事業費 × 100

事業の進捗状況（ 一般会計 ）

（千円）

		平成17年度決算	平成18年度決算	平成19年度予算
成果指標	計画			595人
	実績	608人	595人	
成果指標	計画			54.10%
	実績	77.0%	76.6%	
事業費	事業費	2,077	2,067	1,200
	人件費	2,413	2,335	2,367
	(人数)	0.3	0.3	0.3
	合計	4,490	4,402	3,567
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	4,490	4,402	3,567

事務事業内容の評価

項目	課内評価		部長評価		評価の説明(問題点)
	18評価	15評価	18評価	15評価	
達成度	2	1	2	1	少子化傾向が長く続くが、子ども会に関わる青少年の健全育成は図られている。
経済効率性	1	1	1	1	参加者数の減少で、投入された予算に見合った成果はあがっていない。
事務効率性	1	2	1	2	一部職員に事務が偏っているので、改善の必要がある。
必要性	2	2	2	2	少子化傾向が続く時こそ、地域で子どもを育てる力を育成する必要がある。
小計	6	6	6	6	
施策への貢献度	2	-	2	-	「施策」の達成には、ある程度効果がある事業である。
合計	8	6	8	6	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	B	B	年齢・学齢を超えて友情を育成するこの事業の必要性は承知しているが、何か、新しい「かたち」でやれないか模索する時期にきているのかもしれない。
------	---	---	---	---	---

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

これまでに実施した改善点

改善等事項	経費の縮減額
子ども会の役員ができる事務は役員に任せるようにした。	

今後改善すべき点

スポーツ大会、青空まつりは子ども会全体の力を発揮する場所であると思うが、ふだんの生活のなかで年齢の異なる子どもがふれあう機会をもっとつくる必要があると思う。これが、「何か新しいかたち」になるはずである。

平成20年度予算に反映する項目

--

今後の方向性

拡大、充実 ・ 見直し、縮小 ・ 現状維持 ・ 検討中

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

平成18年度事務事業評価表

担当	教育委員会	生涯学習課	内線等	3405
----	-------	-------	-----	------

事業コード		事務事業名	家庭教育推進事業		
根拠法令等	社会教育法		A法令	B条例	C規則 Dその他 Eなし

総合計画での位置付け

基本目標

施策名

豊かな心と創造性を育むまちづくり	生涯学習
------------------	------

事務事業の内容

対象(受益者)	子どもに関わる生活をする市民に対して
手段	家庭教育講座などの開設や子育て情報を提供することによって
想定する成果	親子のふれあいを図り子どもたちの健全な育成を図る

事業の概要

項目	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度計画
子育て講座	44回	31回	24回
講座参加者	1702人	1359人	1830人
情報紙発行	年2回 20,000枚	年2回 20,000枚	年2回 20,000枚

成果指標

成果指標名	子育て講座1回あたりの受講者数	情報紙(がまっ子ねっと)配布状況
成果指標の説明	総受講者数/講座開催数	1回当たり発行数/対象者×100

事業の進捗状況 (一般会計)

(千円)

		平成17年度決算	平成18年度決算	平成19年度予算
成果指標	計画			76.3人
	実績	38.7人	43.8人	
成果指標	計画			100.0%
	実績	100.0%	100.0%	
事業費	事業費	929	320	290
	人件費	4,826	4,670	4,733
	(人数)	0.6	0.6	0.6
	合計	5,755	4,990	5,023
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	5,755	4,990	5,023

事務事業内容の評価

項目	課内評価		部長評価		評価の説明(問題点)
	18評価	15評価	18評価	15評価	
達成度	2	1	2	1	「親子ふれあい広場」という講座は毎回申込者多数で抽選になる。少子化時代ゆえに教育熱心になるのか。
経済効率性	2	2	2	2	安価な講演料だが内容が充実しているので、受講生が多い。
事務効率性	1	1	2	1	情報誌はすべて手作りなので、事務量は増加した。
必要性	3	3	3	3	少子化時代が続く中、親と同居しない母親がふえているので必要性は高い。
小計	8	7	9	7	
施策への貢献度	3	-	3	-	「施策」の達成には、非常に効果がある事業である。
合計	11	7	12	7	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	A	B	A	B	予算規模は少ないが、時代の必要性は依然として高い。永続的に行う大切な事業だと思う。
------	---	---	---	---	---

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

これまでに実施した改善点

改善等事項	経費の縮減額

今後改善すべき点

生涯学習課以外の関係部署（児童課、健康推進課等）との連携を密にし、市全体の子育て事業を強化すべきだと思う。

平成20年度予算に反映する項目

--

今後の方向性

拡大、充実 ・ 見直し、縮小 ・ 現状維持 ・ 検討中

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

平成18年度事務事業評価表

担当	教育委員会	生涯学習課	内線等	3405
----	-------	-------	-----	------

事業コード		事務事業名	公民館施設整備事業				
根拠法令等	社会教育法		A法令	B条例	C規則	Dその他	Eなし

総合計画での位置付け

基本目標	施策名
豊かな心と創造性を育むまちづくり	生涯学習

事務事業の内容

対象（受益者）	市民に対して
手段	公民館の施設を整備することにより
想定する成果	地域の生涯学習の拠点として快適に使用することができる

事業の概要

項目	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度計画
工事請負費	2,250千円	1,050千円	1,730千円
実施計画上の事業費	3,000千円	2,200千円	2,200千円

成果指標

成果指標名	工事請負費の伸び	実施計画との比較
成果指標の説明	現年度工事請負費 / 前年度工事請負費 × 100	工事請負費 / 実施計画上の事業費

事業の進捗状況

（ 一般会計 ）

（千円）

		平成17年度決算	平成18年度決算	平成19年度予算
成果指標	計画			164.8%
	実績	73.7%	46.7%	
成果指標	計画			78.6%
	実績	75.0%	47.7%	
事業費	事業費	2,250	1,050	1,730
	人件費	4,022	3,892	3,945
	(人数)	0.5	0.5	0.5
	合計	6,272	4,942	5,675
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	6,272	4,942	5,675

事務事業内容の評価

項目	課内評価		部長評価		評価の説明（問題点）
	18評価	15評価	18評価	15評価	
達成度	1	1	1	1	耐震化などもっと多くの改修が必要な箇所がある。
経済効率性	1	1	1	1	財源不足のため経済効率性は低い。
事務効率性	1	1	1	1	財源不足のため事務効率性も低い。
必要性	3	3	3	3	避難場所に指定されているがこの状態だと心配である。早急の措置が必要である。
小計	6	6	6	6	
施策への貢献度	1	-	1	-	「施策」の達成には程遠いものがある。
合計	7	6	7	6	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	C	B	C	B	実施計画上の事業費は少ないが、公民館自体の施設充実の希望は大きなものがある。地区コミュニティの中核施設としてその役目は重要だが、今の財政状況から見て短期間に改善される見込みはきわめて低い。
------	---	---	---	---	--

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

これまでに実施した改善点

改善等事項	経費の縮減額

今後改善すべき点

財政難が続き、公民館施設整備に希望どおりの予算がなかなかつかないが、台風時における地域の避難場所に指定されていることから早急な対応が必要である。なお、形原公民館については平成20年度から建設準備が開始される予定である。

平成20年度予算に反映する項目

--

今後の方向性

拡大、充実 ・ 見直し、縮小 ・ 現状維持 ・ 検討中
 【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】